

高流動 超軽量 断熱モルタル

セメント系無機モルタル



床の断熱補強に最適

高流動で優れた作業性

荷重軽減

フローリング下地にも最適

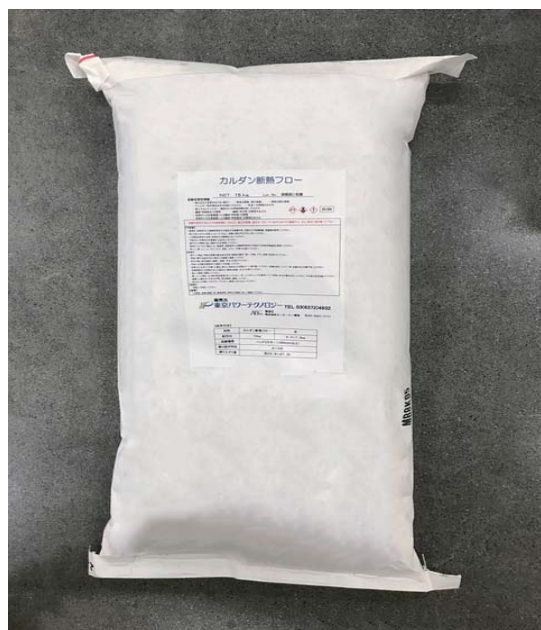
『カルダン断熱フロー』

流し込みで平滑になり、断熱補強もできます。

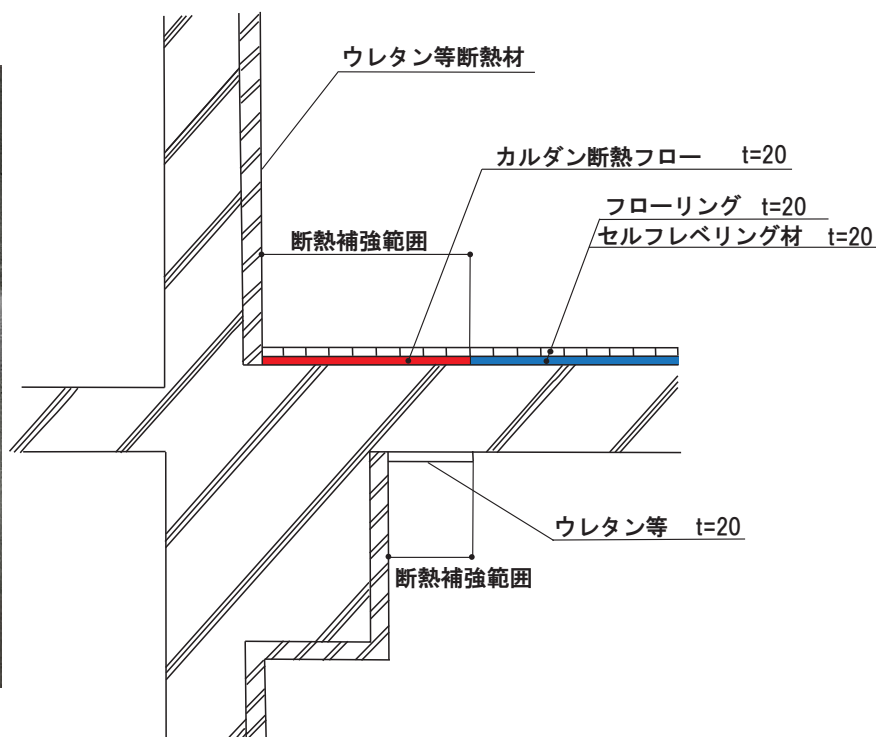


『カルダン断熱フロー』モルタルの特徴

- 熱伝導率は鉄筋コンクリートの 1/10 以下であり、**高い断熱性能**を有します。
- RC 造共同住宅等の直床構造における構造熱橋部の**断熱補強**（床上部）に適しています。
断熱補強仕様 2 においては地域区分 1、2 地域を除いて熱抵抗の基準値は $0.1 \text{ m}^2 \cdot \text{K/W}$ となっており、**厚み 15mm 以上**で基準を確保できます。
- 「カルダン断熱フロー」モルタルはセルフレベリング材に近い**高流動性**を有し、床の**不陸調整**と**断熱補強**ができ、高い作業性を有します。
フローリング下地として十分な性能を有します。
- 「カルダン断熱フロー」モルタルは押出成形ポリスチレンボード、EPS、ウレタンボード等の発泡プラスチック系断熱材に比べ**圧縮強度が高く**、荷重が直接かかる**直床工法**において**最適**です。
- 本製品は**セメント系モルタル材料**であり、床コンクリートと**接着力も良好** (0.82 N/mm^2) であり、浮き、剥がれが生じません。



「カルダン断熱フロー」(15kg 入り)
[40 袋で 1.0 m^3 ($0.025 \text{ m}^3 / \text{袋}$)]



RC 造の構造熱橋部の直床上部の断熱補強例

施工方法

①下地処理

- ・コンクリート床面の下地のレイトンス・脆弱部・油分等を取り除き清掃を行なってください。

②プライマー塗布

- ・下地処理後、**カルダンモルタルプライマー**（原液のまま使用）を接着面にローラー、噴霧器、刷毛等で均一に**2回塗布**し（塗布量 100 m² / 18 ㍒缶）、乾かします。

③カルダン断熱フローの練り混ぜ

- ・水は水道水を使用し、**標準 6.7kg（6.4kg ～ 7.0kg）**を計量します。
- ・十分な容量の容器（40 ㍒ 以上）に計量した水を注ぎます。
- ・カルダン断熱フローの粉体（15kg）を容器にゆっくり入れます。
- ・製品練り混ぜには高速回転のモルタルハンドミキサーを使用してください。
- ・練り混ぜ時間は**2分以上～3分以下**撹拌してください。



④流し込み

- ・プライマーが乾いたのを確認した後、墨やアタリを目印に、均等に流し込みます。
- ・流し込み後、速やかにトンボまたはコテで平滑にします。
- ・**打ち継ぎは15分以内**で行ないます。



⑤養生

- ・硬化するまでは、窓を閉め急激な乾燥をしないようにします。
- ・次工程（フローリング等の仕上げ材）の施工は硬化状況、乾燥状況を確認して行ないます。
- ・次工程までは**7日以上**の養生をします。
- ・打込みから7日間は表面の自然乾燥を妨げるような処置はしないでください（膜養生剤、シート、散水など）。
- ・施工箇所の**日平均室温が5℃以下**となる期間は、施工した部屋においてヒーター等の**採暖を行ない**、材料温度が5℃以上となるようにします。



配合水量

カルダン断熱フロー (kg)	水 (kg)	備考
15	標準 6.7 (6.4 ～ 7.0)	モルタルハンドミキサーで2分～3分撹拌

※40 袋で 1.0 m³ (0.025 m³ / 袋)

基本物性値

項 目		単 位	物 性 値	摘 要
密 度	フレッシュ時	kg / m ³	850	JIS A 1171
	28日後		650	20℃、湿度 50%
フロー値		mm	180 ~ 200	JASS 15M-103
曲げ強度 (28日)		N / mm ²	1.30	JIS R 5201
圧縮強度 (28日)		N / mm ²	5.43	JIS R 5201
付着強度		N / mm ²	0.82	JIS A 1171
熱伝導率		W/(m・K)	0.14	JIS A 1412-2
ホルムアルデヒド放散等級		F☆☆☆☆ (2004016)		

注) 記載内容は、2020年3月現在のものです。製品改良のため断わりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
また、現場での品質を確実に保証するものではありません。

- ◎ 硬化するまでは**急激な乾燥**をしないようにします。
- ◎ 次工程（フローリング等の仕上げ材）の施工は**硬化状況・乾燥状況**を確認します。
- ◎ 次工程までは**7日以上**の養生をします。
- ◎ 打込みから**7日間**は表面の自然乾燥を妨げるような処置はしないでください。
(膜養生剤、シート、散水など)
- ◎ 施工箇所の日平均室温が5℃以下となる期間は、施工した部屋においてヒーター等の採暖を行い、**材料温度が5℃以上**となるようにします。

寒冷地等で使用する場合は、下記の「建築工事標準仕様書・同解説 JASS15 左官工事 (2019年12月改定版)」の記載事項に基づき、施工してください。

- 塗付け場所の気温が3℃以下の場合、原則として塗付けをしないでください。
やむをえず塗付けをする場合は、採暖などの措置を講じてください。
- 直射日光や風などにより急激な乾燥が予想される場合は、下地や塗付け材料の急激な乾燥を防止するために、シート、ポリエチレンフィルムなどで養生するか、散水の処置を講じてください。
- 降雨のおそれがある場合及び強風時には、原則として外部の塗付けをしないでください。

副資材 カルダンモルタルプライマー
下地への吸水調整及び付着力向上に寄与します。
標準塗布量：100 m² / 18 ㍺缶 (1 缶 18 ㍺入り)



カルダン断熱フローのお問い合わせ

東京パワーテクノロジー株式会社 土木建築事業部

〒135-0061

TEL 03-6372-4932

東京都江東区豊洲 5-5-13

FAX 03-6372-4156



Tokyo Power Technology

<https://www.tokyo-pt.co.jp>